

地方鉄道の第三セクター化が高校生の鉄道利用
に与える影響

～あいの風とやま鉄道沿線高校在籍生徒へのアンケート調査を通して～

人文地理学研究室4年 11310132
縫田一步

はじめに

・問題の所在
少子高齢化
モータリゼーションの発展 → 第三セクター鉄道の
利用者減少

その結果・・・

鉄道の利用者が減少することによって安定した経営を行うことが
できず、運賃の値上げや運行本数の減少を引き起こす

はじめに

地方の第三セクター鉄道が果たす役割

- ・地域住民の通勤・通学の足
- ・地域の経済活動の基盤
- ・少子高齢化や地球環境問題への対応
- ・まちづくりと連動した地域経済の自立・活性化

↓
鉄道は単なる移動手段の確保だけではなく、地域全体を支える
基盤となっている。

既存研究

- ・坂本・大野(2012)
沿線高校在籍生徒へのアンケート調査
→高校生のニーズとの不一致やマイルール意識の創出
- ・土屋(2013)
利用者アンケートと市民アンケート
→鉄道の利便性向上だけでなく、沿線住民の支援、行政との
協力の必要性

研究目的

- ・あいの風とやま鉄道を事例に地方鉄道の第三セクター化が高
校生の鉄道利用に与える影響を明らかにする
- ・沿線高校在籍生徒へのアンケート調査を通して現状分析を行
い、その結果から鉄道利用拡大可能性を探る

研究方法

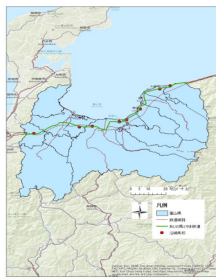
- ・調査方法
アンケート調査(調査票は直接配布または郵送→直接回収)
- ・調査対象
各学年1クラスずつ(抽出方法は各学校に委任)
母集団 あいの風とやま鉄道沿線立地する8高校の生徒
標本数 920人(男子生徒383人, 女子生徒537人)
- ・調査時期
2016年9月～2016年10月

調査項目

- ①通学手段等
通学手段, 通学時間
- ②あいの風とやま鉄道利用状況
あいの風とやま鉄道利用頻度, 乗降駅, 運賃支払い手段, 駅から学校までの交通手段, 満足度
あいの風とやま鉄道を利用しない理由, 利用拡大に向けた重要度
- ③その他
JR時代と現在を比べた時のサービスの变化, 通学以外の利用目的, あいの風とやま鉄道への期待度, 自由記述

調査対象概要

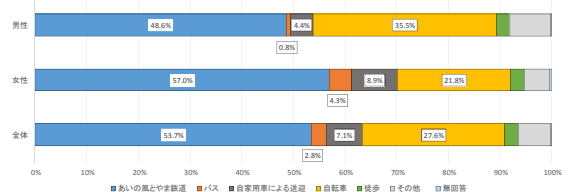
- ①沿線地域の人口(5年間)
 - ・合計人口は年々減少
 - ・15歳～19歳人口は横ばい
 - ・入学者数も横ばい
 - ②あいの風とやま鉄道
 - ・2015(平成27)年3月14日に開業した第三セクター鉄道
 - ・三セク化に伴って「運賃値上げ」、「ダイヤ改正」、「車両数の減少」といった変化が起きた
- ↓ しかし
- 将来人口は大きく減少すると予測されている



第1図 対象地域概要

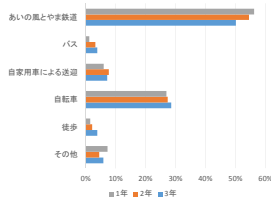
結果

第2図 男女別通学手段



結果

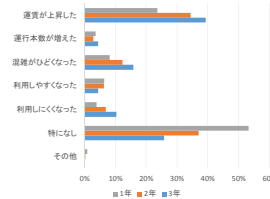
第3図 学年別通学手段



- ・学年が上がるにつれて鉄道の利用が減少
 - ・それに伴い、他の通学手段が上昇
- ↓
- 第三セクター化が利用に影響を及ぼしている？

結果

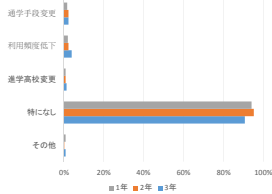
第4図 JRと現在を比べた変化



- ・「運賃の上昇」、「混雑」、「利用しにくさ」といった悪い面は学年が上がるにつれて、上昇している
- ↓
- 通学や進路選択への影響は？

結果

第5図 通学・進路選択への影響

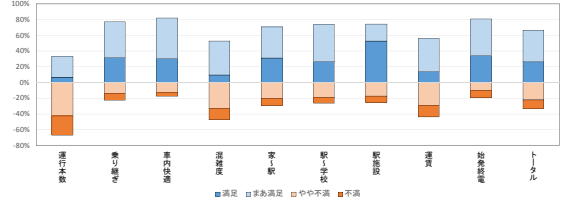


第1表 運賃の上昇を感じた生徒の進路・進学への影響

| | 合計(人) | 進路の上昇を感じた生徒(人) | 割合(%) |
|--------|-------|----------------|-------|
| 進学高校変更 | 15 | 11 | 73.3 |
| 利用頻度低下 | 25 | 19 | 76.0 |
| 進学高校変更 | 10 | 6 | 60.0 |
| 合計 | 50 | 36 | 72.0 |

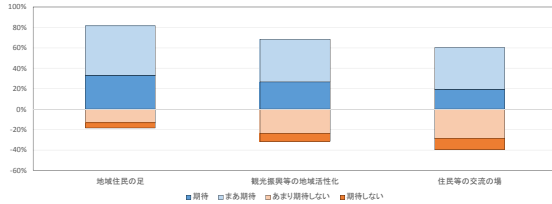
結果

第6図 項目別満足度



結果

第7図 あいの風とやま鉄道への期待度



考察

今回の調査で明らかになったことは

- ① 高校生のニーズと鉄道の運行状況の不一致
- 運賃上昇による不満
- 運行本数の不足や混雑度
- 現状では進路選択等への影響はあまり見られない

考察

- ② マイレール意識の低下
- ・「住民の足」という役割以外への低い期待度
- ・免許取得後の利用率の低さ
- 鉄道会社だけでなく、沿線住民を巻き込んで、地域全体で鉄道づくりをしていくことの重要性

参考文献

- ・小田谷文彦・恵田隆・カーベーター、リービクター 2015. 地方鉄道における地域との動：くま川鉄道、肥薩おれんじ鉄道の検討。人文社会論叢 社会科学 34： 111-118.
- ・北崎浩嗣 2003. 並行在来線先発地域との比較検討からみた「肥薩おれんじ鉄道」。経済学論集 59： 53-75.
- ・北崎浩嗣 2005. 営繕する並行在来線第三セクター鉄道の経営。経済学論集 64： 33-47.
- ・柳引素夫・北原啓司 2005. 東北新幹線八戸開業が地元にもたらした経済的、社会的変化と課題。弘前大学大学院地域社会研究科年報 2： 79-95.
- ・坂本桂二・大野貴司 2012. 第三セクター鉄道利用通学者減少の経営における影響と対応 —長良川鉄道沿線高校在籍生徒へのアンケート調査結果を踏まえて—。地域経済 31： 129-145.
- ・塚井徹 2010. 地域公共交通活性化法と並行在来線問題(2009年研究大会シンポジウムより)。交通権 27： 25-33.
- ・土屋敏治 2009. 地方都市における公共交通の新機軸とその課題(特集→地域政策と交通問題)。経済地理学年報 55(1)： 12-32.
- ・土谷敏治 2013. 地方鉄道第三セクター化の課題 —ひたちなか海浜鉄道の事例—。経済地理学年報 59： 111-135.
- ・堀雅通 2012. 整備新幹線(延伸)開業に伴う諸問題。「並行在来線問題」を中心に。東洋大学大学院紀要 49： 123-144.
- ・山本匡毅 2006. 整備新幹線の開業に伴う並行在来線の第三セクター化の影響：しなの鉄道を事例として。人文地理学大会 研究発表要旨 2006： 4-4.